

介護保険制度の現状と課題 —介護の社会化は 実現されたのか—

2000年に介護保険制度が始まり、家族が担ってきた介護を社会が責任を負う「介護の社会化」への第1歩が始まりました。これは本当に大きな喜びでした。しかし、それもつかの間で、3年毎の制度改定の度にサービスは減少、保険料のアップという改悪で、介護の「再家族化」へと押し戻されています。

誰もが歳をとります。高齢者が安心して老後を暮らせる「介護保険の宝」を守っていくためにも、介護保険制度の現実を知り、この制度をよりよいものに守り育てていかねばなりません。皆様の参加をお待ちしています。



～伊藤周平さんのプロフィール～

専攻は社会保障法。労働省、社会保障研究所、九州大学助教授を経て2017年より現職。著書に『介護保険法と権利保障』（法律文化社）『後期高齢者医療制度』（平凡社新書）等

●日時： 11月29日(土曜日) 13:30～15:30

●会場： 久留米市男女平等推進センター210・211 研修室

久留米市諏訪野町 1830-6 えーるピア久留米内

●講師： いとう しゅうへい 伊藤 周平さん 鹿児島大学法文学部教授

●定員： 70名

申し込み・問い合わせ先：TEL 090-7457-7122 fax 0942-47-0093 (今村)

●手話通訳・一時保育あり / 申し込みは 2025年11月21日(金)まで

●主催：久留米男女平等推進ネットワーク